

日本社会臨床学会入会のお誘い

日本社会臨床学会第 VI 期運営委員会

2005 年 3 月 21 日

2005 年 4 月で発足 13 年目を日本社会臨床学会は迎えました。

社会・文化の中の「臨床」という営みを点検・考察し、さらにそのあり方を模索することを目的として、1993 年 4 月、日本社会臨床学会は発足しました。以降、今の時代を生きる人間の悩みや想い、その背後にある社会の矛盾や問題を、さまざまな領域や立場の人々が共に自由に考え合える場を作り出すことを目指して活動を続けてきました。

この間学会誌『社会臨床雑誌』12 巻（12 巻 3 号までで 36 冊）を発行し、「社会臨床シリーズ」全 4 巻（影書房発行。第 1 巻『開かれた病への模索』・第 2 巻『学校カウンセリングと心理テストを問う』・第 3 巻『施設と街のはざまで』・第 4 巻『人間・臨床・社会』）、『他者への眼ざし〜「異文化」と「臨床」』（社会評論社）、『カウンセリング・幻想と現実』（上下 2 巻。現代書館）を編集・出版してきました。

会員の多くは医療・教育・福祉といった現場の労働者・利用者、関心を寄せる人です。大学等の研究者もいますが、その専門領域は多様です。既存の専門分野・領域を共通点として集う場所ではなく、差別や優生思想の問題、資格・専門性を疑う視点等にこだわりながら日常を暮らしている人々が共に考えることを求めて集う場所となっています。

これまで総会シンポジウムでは、「老いと介護をめぐる」「精神医療は改革されてきたのか」「学校と教育を解読する」「ボランティアをどう考えるか」「日本を生きる」「いま、学校・教育はどうなっているか」「先端医療の中の自己決定権とカウンセリング」「高齢社会の人間関係を考える」「共に生きる」を検証する」「学校はどこへ行くのか〜「心の教育」問題を軸に〜」「学校の再編成と向き合う」「場」と「専門性」〜日常の関係性を問い直す〜」「支援」ばやり、これで大丈夫か」「臨床心理を問う」といったテーマの議論を重ねてきました。昨年の総会では「いま、社会の心理主義化をどう問うのか」「教育基本法「改正」になぜ反対するのか」というテーマで考えました。今年の総会では「なぜ今、新しい「障害」概念が必要なのか？〜発達障害者支援法の背景〜」「暮らしに浸透する医療」をテーマに議論をすることになっています。

学会の主な活動は、学会誌『社会臨床雑誌』（年 3 冊）、学会紙『社会臨床ニュース』（年数回）の発行、総会（年 1 回）・シンポジウム・学習会等（随時、年数回）の開催、単行本の出版などです。

会員には、学会誌・紙への寄稿、企画・運営へのご協力など、学会活動を共に担ってくださることを期待しています。なお、総会・学習会などは、非会員の方にも参加していただけます。

会員には、当学会の目的に共鳴して共に考えるお気持ちのある方ならば、どなたもなれます。年会費（4 月〜翌年 3 月分）は 6,000 円です。皆様の学会入会を心からお持ちしています。

学会に関する問い合わせ・・・・・・・・・・日本社会臨床学会事務局

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部情報文化教室林研究室

FAX：029-228-8314 / TEL：029-228-8314（事務局・林）

E-MAIL：shakai.rinsho@gmail.com

郵便振替：00170-9-707357（日本社会臨床学会）

WEB：http://www1.atpages.jp/sharin/

日本社会臨床学会入会申込書

入会を希望される方は、以下を記入の上、学会事務局まで、郵送・FAXにてお送り下さい。同内容をメールにて送付下さっても構いません。

記入にあたっては、最低限、氏名、氏名よみ、雑誌・ニュース等の送付先住所、記入年月日はご記入下さい。

なお原則として記入年月日が含まれる年度からの入会とさせていただきます。次年度・前年度からの入会等を特に希望される方はその旨お書き添え下さい（年度は4月から翌年3月までを1年度とします）。

氏名： _____

氏名よみ： _____

自宅 郵便番号： _____

県名： _____

住所： _____

電話番号： _____

FAX 番号： _____

所属 名称： _____

郵便番号： _____

県名： _____

所在地： _____

電話番号： _____

FAX 番号： _____

電子メールアドレス： _____

関心のあること：

郵便物の送付先： 自宅 / 所属 （どちらかに○をつけて下さい）

記入年月日： 年 月 日